



<学校教育目標>

きたえる子 学ぶ子 思いやる子

<重点教育目標>

自ら学び・一緒に学び・最後までやりぬく子

第5号 令和8年7月21日発行

電話 63-2101



八雲小学校 HP <https://www.town.yakumo.lg.jp/site/yakumo-es/>

検索ワード

八雲小

児童会くもるん

安全で楽しい夏休みを過ごすために

生徒指導部

楽しみにしていた夏休みがスタートしました。予定が決まっている人も、のんびり過ごす人も、夏休みを有意義に安全に過ごしてほしいと願っています。

さて、夏休みに入ると、子どもたちが地域で過ごす時間がぐっと増えます。親の目が届きにくくなるからこそ、地域での「安全」と「マナー」について、今一度ご家庭で考えていただきたいと思います。

まず心配されるのが、交通安全です。北海道警察の統計（右の QR コード参照）によると、小学生の「歩行中」の事故では4割以上が飛び出しや横断違反であり、「自転車乗車中」にいたっては6割以上に一時不停止や安全不確認といった、子ども側の法令違反がみられます。また、夏休み期間中は学校期間中と異なり、午前中からお昼時にかけて事故のリスクが高まります。「交差点では必ず止まる・左右を見る」「ヘルメットを着用する（令和8年度より努力義務化）」ことを繰り返しお声がけください。

下のQRコードを読み取る、または
タップするとサイトに移動します。



小学生の交通事故実態
北海道警察本部交通企画課

また、地域での過ごし方のマナーも極めて重要です。残念ながら、これまでに、地域のお祭り等において子どもたちのマナーや素行について厳しいご意見をいただくことがありました。友達同士で道路を広がって歩く、自転車の危険な乗り方、公共の場所や店舗周辺での周囲の迷惑を考えない行動など、開放的な気分からくる軽率な行動は見過ごせません。お祭りや地域の行事は、多くの大人たちが子どもたちの笑顔のために準備してくださっているものです。感謝の気持ちを忘れず、「地域の一員」としてきまりやマナーを守って気持ちよく過ごせるよう、ご家庭でも具体的な行動についてぜひ話し合ってみてください。

さらに、家の中や地域での過ごし方に深く関わってくるのが、スマートフォンや Chromebook の利用についてです。

スマートフォンで撮影した写真から位置情報を取得され、悪用されるトラブルもあります。位置情報を OFF にする機能を使えば防げますので、そのような防止策をお子様が把握できているか、この機会にぜひ一緒に確認してみてください。

八雲小学校では情報モラル学習を一層充実させ、また、夏休み明けに Chromebook の利用状況についてネットパトロールをし、子どもたちの安全を守る取組を推進していきます。

ご家庭でも、この夏休み中の携帯電話やスマートフォン、Chromebook の利用が普段よりも長くないように、また、夜遅くまで使うことがないように、使用する時間や場所について各家庭で今一度ルールをご確認いただき、ご指導をお願いいたします。

『八雲町内小・中・高校生の夏休みの過ごし方』

夏休み中の過ごし方が載っています。お子様と一緒にご確認ください。

（右の QR コードを読み取る、またはタップしてご覧ください。）⇒



笑顔あふれる、最高の思い出になりました！～6年生修学旅行～

7月1日・2日の2日間、6年生が修学旅行に出かけました。出発時には、1年生やあおぞら学級、5年生の皆さん、そして保護者の皆様から温かいお見送りを受け、笑顔で学校を出発しました。

初日は、白老町の『ウポポイ』でアイヌの歴史や文化、衣食住について学び、昼食にはアイヌ料理も味わいました。その後は『登別伊達時代村』を訪れ、江戸時代の街並みの中でショーや体験活動を楽しみました。買い物では思い思いのお土産を選び、刀のおもちゃを手に笑顔を見せる子どもたちの姿も印象的でした。宿泊先の『登別温泉』では、おいしい夕食と温泉を満喫し、友達と過ごす部屋での時間も修学旅行ならではの楽しい思い出となりました。

2日目は『登別マリンパークニクス』で、イルカやペンギンのショーを見学し、多くの海の生き物に親しみました。最後は、世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の一つである『北黄金貝塚』を見学し、ガイドの方の説明を真剣に聞きながら、縄文時代の暮らしに思いを巡らせました。

実行委員を中心に、一人一人が「みんなで楽しく、笑顔あふれる思い出に残る最高の修学旅行にしよう」という目標を意識して行動したことで、全員が元気に充実した2日間を過ごすことができました。荷物の準備など、ご家庭の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。



地元の恵みに感謝！「風の子もち・ヨーグルト」贈呈式と特別授業

7月8日(水)、本校にて「風の子もち・フルーツサラダヨーグルト贈呈式」が開催され、5年生が全校児童を代表して参加しました。

授業では、地元の特産品「風の子もち」の粘りやコシといった特徴や名前の由来、酪農家が早朝から夜まで安心・安全な牛乳を届けるために日々どのような努力をしているかを学びました。児童にとって地域の基幹産業への理解を深める貴重な体験となりました。

贈呈式では、児童代表が寄贈品を受け取り、感謝の言葉を述べました。この日の給食には、寄贈いただいたもち米を使った「赤飯」と「フルーツヨーグルト」が登場。地域の豊かな実りを五感で味わい、生産者への感謝を実感しました。

今回の学びを今後の学習にも生かしていきます。素晴らしい贈り物をありがとうございました。



八雲小ホームページ

下のQRコードを読み取る、または
タップするとサイトに移動します。



時間割・行事予定

下のQRコードを読み取る、または
タップするとサイトに移動します。

